

～外部が求める人、それは、「誠実な人」～

面接試験(就職、進学(特に、推薦や総合型選抜・AO入試など面接))に共通していえることは、「誠実な人」を採りたいということです。今回は、「誠実さ」(integrity)とはどのようなことかを確認します。誠実さは人がもって生まれた性格でもありますが、意識すれば高めることができる性質でもあります。常に「誠実であろう」と努めていれば、態度や振る舞いが変わっていくはずです。誠実な人が多い集団ほど円滑なコミュニケーションが行われ、雰囲気の良いものになります。組織や集団の信頼性は、外部に対する魅力にもつながっていくものです。

皆さんそれぞれが「誠実さ」をより高めることで、南陵高校という組織の信頼性を高め、進路決定してもらいたいと願っています。

●誠実な人の特徴

- ①嘘をつかない
- ②礼儀正しく相手を敬う
- ③思いやりがある
- ④誰に対しても平等
- ⑤責任感が強い
- ⑥真面目で正直
- ⑦約束を守る
- ⑧真剣に話を聞く

●誠実さを高める行動

- ①できない約束をしない
- ②誰に対しても公平な態度で接する
- ③常に相手を尊重する
- ④最後まで責任をもつ
- ⑤時間・ルール・マナーを守る
- ⑥自分の気持ちを素直に伝える

下線を引いた部分は、皆さんが行動で示せる重要部分です。面接において、受け手が「この人を採ると集団が良い方向に働きそうだ」と思えば、その面接は合格です。好ましい人間性を磨くには、毎日の生活の中で上に書いたことを意識し、実践することに尽きます。「この人に仕事を任せたい」と相手が思えばそれで良しです。また、近年、海外企業においても「誠実さ」が重視される傾向にあるようです。その背景としては、企業の社会的責任が増していることが挙げられます。「誠実さ」を備えた人が多い組織ほど、コンプライアンス(規律)が遵守されやすく、組織としてリスク(負債)を軽減できるという側面があります。

～誠実であれ南陵生！！～